

|     |             |
|-----|-------------|
| 作成日 | 2010年12月02日 |
| 改訂日 | 2011年02月04日 |

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

鉛フリーソルダペースト

製品名 : **SN100C P605 D6**

会社名 : 株式会社 日本スペリア社

住所 : 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-16-15

担当部門 : 品質保証課

電話番号 : 06-6380-1121

ファックス番号 : 06-6380-1262

整理番号 : C2106-NS

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

皮膚腐食性・刺激性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2B

皮膚感作性 : 区分 1

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 区分 2

吸引性呼吸器有害性 : 区分 2

#### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 皮膚刺激

眼刺激

アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期又は反復暴露による肝臓、眼、呼吸器(吸入)の障害のおそれ

飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

#### 注意書き

安全対策 : はんだ付用途以外には使用しないこと。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

食事前、作業終了時には手洗いすること。

直接皮膚に触れないように保護手袋等を着用すること。

個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。

換気の良い場所で使用すること。

熱、火花、裸火、高温のもののような装置から遠ざけること。

容器を密閉しておくこと。

救急処置 : 火災の場合には適切な消火方法をとること。

皮膚に付着した場合、石鹼を用いて皮膚を洗うこと。炎症を起こした場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合、多量の水で口を洗い流すこと。無理して吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

- 保管 : 容器を密閉し、0～10℃の冷蔵庫に保管すること。
- 廃棄 : 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
- 分類の名称 : 分類基準に該当しない
- 有害性 : 作業時に発生するガスを吸入すると、のど、鼻の刺激あるいは気分が悪くなることがある。

### 3. 組成、成分情報

単一製品／混合物の区分 : 混合物

| 成分       | 含有量(mass%)    | PRTR 政令番号 | CAS No.   |
|----------|---------------|-----------|-----------|
| はんだ粉     | 85.0～87.0     |           |           |
| (錫)      | (残部)          | —         | 7440-31-5 |
| (銅)      | (0.42～0.61)   | —         | 7440-50-8 |
| (ニッケル)   | (0.034～0.061) | —         | 7440-02-0 |
| (ゲルマニウム) | (0.01 以下)     | —         | 7440-56-4 |
| フラックス    | 13.0～15.0     |           |           |
| (ロジン)    | (4.7～5.5)     | —         | 8050-09-7 |
| (溶剤)     | (5.9～6.9)     | —         | —         |
| (その他)    | (2.4～2.6)     | —         | —         |

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : はんだ付時のガスや本品の乾燥した粉末を吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹼を用いて皮膚を洗うこと。炎症を起こした場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。目の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 多量の水で口を洗い流すこと。無理して吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、炭酸ガス、乾燥砂等
- 使ってはならない消化剤 : 水
- 消火方法 : 周辺火災の場合、火災に応じた消火剤を使用する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。ロープを張るなどして火災場所への関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護 : 火災の際は分解ガスが発生するので、必ず保護具を着用して消火活動を行う。

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : ウェス等に吸収させて速やかに密閉容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 取扱いは局所排気装置を設置した場所で行う。目や口に入らないように、必要に応じて保護眼鏡や保護マスクなどの保護具を使用する。特に皮膚接触を防止するために、不浸透性の労働衛生保護手袋を使用する。火気の使用を禁止するとともに周辺の清掃に心がけ、スパークの発生を禁止する。
- 安全取扱い注意事項 : 直接皮膚や目に触れないように注意する。本品を扱いながら喫煙、飲食等をしてはならない。本品を取扱った後に飲食、喫煙等をする場合は十分に手を洗うこと。
- 保管 : 0～10℃の冷蔵庫に密封容器で保管する。強酸化性物質、酸類、有機過酸化物との同一保管は禁止とする。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 許容濃度 : 2.0 mg/m<sup>3</sup>(錫として)
- 設備対策 : 室内での取扱いの場合は発生源に局所排気装置を設置する。  
全体換気装置(はんだ付作業時)
- 保護具 : 呼吸保護具 — 活性炭入り有機溶剤用マスク  
手の保護具 — 不浸透性ゴム手袋  
目の保護具 — ゴーグル型眼鏡、保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具 — 専用の耐溶剤性作業衣

---

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : ペースト状
- 色 : 灰色
- 臭い : マイルドな溶剤臭
- pH : 知見なし
- 融点 : 227℃
- 沸点 : 259.1℃(溶剤)
- 蒸気圧 : 知見なし
- 蒸気密度 : 知見なし
- 比重 : 4～5 g/cm<sup>3</sup>
- 溶解性 : 非水溶性

---

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 室温では安定
- 可燃性 : 可燃性物質含有
- 発火性 : なし
- 自己反応性 : なし

---

## 11. 有害性情報

- 刺激性(皮膚、眼) : 使用されているロジンのミストを吸入すると喘息の原因になることがある。  
ロジン及びそのミストが皮膚に接触すると刺激性がある。皮膚刺激性は弱い。

---

## 12. 環境影響情報

- 知見なし。

---

### 13. 廃棄上の注意

内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

### 14. 輸送上の注意

特別な梱包形態にする必要はないが、運搬に際しては梱包箱に異常がないことを確かめ、転倒、落下をさせないように積み込み、荷崩れ防止を完全に行う。特に運搬上の規制は受けない。

国連分類 非該当

国連番号 なし

---

### 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 施行令第 18 条の 2 名称等を通知すべき危険物及び有害物  
(すず及びその化合物)  
(銅及びその化合物)  
(ロジン)

---

### 16. その他の情報

|      |                                       |          |
|------|---------------------------------------|----------|
| 引用文献 | : JIS Z 7250:2005 化学物質等安全データシート(MSDS) |          |
|      | 一第 1 部 : 内容及び項目の順序                    | 日本規格協会   |
|      | JIS Z 7251:2006 GHS に基づく化学物質等の表示      | 日本規格協会   |
|      | 溶剤ポケットブック                             | 有機合成化学協会 |
|      | 15308 の化学商品                           | 化学工業日報社  |

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。また、含有量、物理化学的性質、危険・有害性についてはいかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の実施を対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。